

RX-78

～ to **X** people, who can **R**ealize your dreams and are **R**eliable. ～
夢を実現し、信頼される未知なる（可能性を持つ）者たちへ

北海道中標津高等学校
第 78 期一学年通信
2024(令和 6)年 6 月 28 日
第 9 号
文責 長谷川 敏美

学校祭準備期間に入りました。

学校行事も「授業」です。全力を尽くすことを期待しています。行事が「授業」と強調されるからには、学ぶべきことがそこにあります。

① **普段の授業とは違った皆さんの姿から、資質や適正などを知ることができる。**

② **生徒同士の関わり方や活動への取り組み方、コミュニケーションのとり方を見ることができる。**

といったことなど、生身の人間同士の営みから学ぶことがあるでしょう。しっかり取り組みましょう
学校行事の時に決まって起こるのが、

「生徒間でのイザコザ」

担任の先生方は、色々な学校を見てきていますから、トラブルの事例には事欠きません。例えば、
・本番近くの追い込み期間に急いで買い出しをしている途中、交通事故に遭う(急ブレーキをかけて顔面からコンクリートにダイブ……)。はい、痛いです。

・クラスTシャツのデザインが、申し込みしたのと違って陰湿なムードに……。気をつけましょう。

あと、この期間特に気をつけてほしいのが、「網戸を動かさないこと」「窓の外に身を乗り出したりものを投げることはしないこと」です。生命に関わる問題です(落下した網戸やもののしたに通行人がいる可能性大。窓からの転落は自身の身を危険にさらします。安全に取り組んでの学校行事だということも心得ましょう。

【保護者の皆様へ】

学校祭・体育祭におけるクラスTシャツの購入呼びかけや注文などは生徒間で行っています(担任は購入代金の取り扱いのフォローなど、最低限にとどめています)。保護者宛文書や学級通信でお知らせするクラスもありますが、価格や代金の徴収方法をお子さんと確認してください。最近は、個人名などのバックプリントの誤字によるトラブルが稀に起きていますが、生徒間で十分確認の上、話が進められています。注文をする前に念入りの確認をするよう、お子さんとお話くだされば幸いです。

また、学校では、学校祭シーズンであるからと「勝手に振る舞って良い」とか「服装身だしなみがだらしなくて良い」という指導は行っていません。家庭での対応もお願いしたいところであります。お子さんの様子をご覧になって、お気づきの点などありましたら、学校までお知らせください。

《北海道中標津高等学校 Tel0153-72-2059》

見学旅行の積み立てについて

月曜日に案内文書を配布しております、「見学旅行積み立て」について、学年からお知らせ致します。案内の要点は次のとおりです。

- 1 積立額は 135,000 円であること。
- 2 申込期間が7月12日(金)までであること(積み立てをするしないは任意)。
- 3 web での申し込みとなること。支払い方法その他は、案内をご覧ください。

8月下旬から9月上旬にかけて、学年で「進路や科目選択に関わっての説明会」を予定しております。その際に、見学旅行についてもお話しさせていただきたく存じます。

学校生活について～色々と細かなところを指摘しております。

1 授業の受け方について

「飲食をしながら授業を受けること」を指導しています。具体的に「ガムを食べながら授業を受けること」です。学校として、これは認めていません。皆さんが悩みを話してきたときや、進路面談・三者面談の時に先生方が同じような対応をしたらどのように感じるでしょうか。子どもだから許されるという問題ではなく「人としてのマナーの問題」です。やめてください。

タブレット・スマートフォンの「目的外使用」をやめてください。そのことが積み重なると、授業を集中して受けることができなくなり、成績が落ちるでしょう。最初に示している通り、「8：30にはスマートフォンの電源は切り、カバンにしまう。」「タブレットは授業で指示されたときに使う。」この二点に注意しましょう。

2 学校施設の使用について

「便器へのガムの吐き捨て」がされました。学校内でガムを食べるのはやめてほしいこともあります。ちょっと考えてください。

そのガムの始末を誰がしていますか。はい、トイレ掃除の方々(4階は1年A組)です。

ガムが配管に詰まったらどうなりますか。はい、トイレが使えなくなります(水浸し)。

公共の建物の使い方が分かっていないようであるならば、制限をかけざるを得ません。今一度考えましょう。トイレ掃除を引き受けてくれているクラスに失礼でもあります。

それでも学校生活を落ち着いて過ごすことができないのであれば、学年集会等の場で、改めてお話しすることとします。

授業・単元テストについて

単元テストを欠席した場合、その次の登校日が追試験の日です。ただし、会議などが入って日にちが延びることもあります。情報を確認して、「うっかり帰ってしまった。」ということの無いようにしましょう。また、具合が悪いからと言って、帰るのもナシです。

よく、何も言わないでそのままで済ませようとする人がいますが、状況を悪くするだけです。過去に、自分がした不始末について話すことができず、そのままにしまったために気まずくなり、学校にいられなくなった人を何人か見えています。そのようにならない適切な行動を心がけましょう。

「単元テスト」だけが評価資料ではありません。提出するもの(ノートやプリントなど)も、締切に間に合わせ「完成された資料」として評価されます(幅広い意味でとらえると、これもテスト)。わかりにくいことがあったら、教科担当の先生に尋ねましょう。

進路活動について

生徒の皆さんは、日々自身の進路を考えていることだと思います。考えるだけで終わっていないでしょうか？ 夏季休業を有意義に活用しましょう。就職の人は、検定受験に向けた対応もそうですが、自分を磨くことを意識しましょう。自己PRの材料にできるようにしましょう。専門学校希望者はオープンキャンパスへの参加を検討しましょう。進学希望の人は、大学入学後にも耐えられる学力・入試を突破するための学力を身に付ける学習をしましょう。

本日(28日)より、ジャージでの登下校が可能となります。ルールがあります。守りましょう。